科目ナンバリング	U-LAS05 20052 LJ74						
授業科目名<英訳>	都市空間論各論Ⅰ Topics in Theory of Urban Space and Architecture I			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　中嶋　節子		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	地域・文化(各論)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	水1	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

都市や集落を構成する重要な要素のひとつが住宅である。わが国の歴史を振り返ったとき、住宅がドラスティックに変化したのは近代であった。近代における住宅の変容と展開は、現在のわれわれの住環境へとつながっている。この授業では、近代における住宅の形態（間取り・意匠・構造・材料）と機能，意味の変容と展開を，背景にある社会，文化，技術との関わりから解説する。また，住宅をとりまく居住空間の性格を，そこで繰り広げられた生活行為および都市－郊外といった場所との関係に注意しつつ講述する。

[到達目標]

我が国における住宅と住まい方の変遷を理解するとともに、今後の住宅のあり様を考察できる力を養う。

[授業計画と内容]

以下の内容について講義する。講義順については前後する場合もある。写真や図面，地図などを用いることで，視覚的，立体的な居住空間の理解を目指す。以下の内容について講義するが、順序は前後することもある。

1　　前史：近世の都市住宅と「都市居住システム」　－京都・大阪・江戸の居住空間
2　　住宅の近代・生活の近代はどこから始まったのか　－居留地の建築と生活
3・4　上流階級住宅にみる伝統の継承と西洋化　－洋館と和館・日常生活と儀礼の空間
5・6　都市住宅の近代的変容　－町家・武家住宅の変容
7・8　庶民住宅の新たな試み　－在来住宅の批判と和洋折衷住宅の提案
9　　近代数寄者と大規模和館
10・11　住宅博覧会と住宅改良運動　－生活の近代化の啓蒙と文化村の登場
12　郊外住宅地と住宅　－田園都市運動と都市からの脱出
13　　集合住宅と都市政策　－同潤会アパートメント・不良住宅地区改良事業
14　　多様な住宅づくりの試み　－輸入住宅，建築家の提案
15　　フィードバック

[履修要件]

住宅や生活の歴史に興味があることが条件。

[成績評価の方法・観点]

授業中に課す小レポート(20%)と，中間レポート（40%）、期末のレポート(40%)によって評価する。その際、出席状況も考慮する。

都市空間論各論Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

都市空間論各論Ⅰ(2)

[教科書]

内田青蔵・大川三雄・藤谷陽悦『新版　図説・近代日本住宅史』（鹿島出版会）

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業前に教科書を読むとともに、授業後には関連図書に目を通していただきたい。
また、授業中に紹介する住宅を最低５か所以上、実際に訪れていただきたい。

[その他（オフィスアワー等）]

生活の容れ物である住宅は，生活によってその形態が決定されると同時に，生活そのものを規定する性格を有していることを，歴史を通して理解していただきたい。

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部